

難題克服シリーズ④ 事例相談者の問題把握と解決のための具体的な指導力を強化する講座

1級合格を目指す方の事例指導者が見立てる事例相談者の問題把握を具体例を使って理解を深める具体的展開強化講座						
東京	2026年11月8日(日)	9:30~16:30	会場：全労連会館 御茶ノ水	受講（税込）	会員：20,000円	一般：25,000円
内容	本講座は1級面接試験において、難関とされる「問題把握力」と「具体的展開力」の強化をメインテーマにしています。 1級面接試験で把握すべき「問題」は、「事例相談者が訴えている問題」と「事例指導者視点で捉える問題」の2つがあります。 このうち、「事例相談者の訴える問題」は、本人が面談の中で話してくれますが、それを理解したことをどのようにして試験官に伝えるかがポイントになります。 「事例指導者視点で捉えるべき問題」は、事例相談者自身は気づいていない面談技法上の「クセ」ですので、気付いてもらうための働きかけをして気づいてもらい、それを「目標」として設定して試験官に伝えます。 さらに、「目標」に合意を得る過程を経て、「具体的展開」のプロセスに移行しますが、「どのようにして指導するか」の案が必要です。 ここで、指導する対象は、経験2年目のキャリアコンサルタントですので、初心者でもわかる基本的・基礎的な指導内容が適切です。例えば、指導者から見て「傾聴が出来ていない人」にも様々な類型があります。 傾聴のやり方が分かっていない人、傾聴の目的や意味を理解していない人、さらには、自分は傾聴できていると思い込んでいる人もいます。 本講座では、事例相談者の問題別に育成的な目標と効果的な指導方法を理解し、ロープレで実践してみます。 午前中に問題把握の方法と試験官への伝え方、方策のやり方を理解し、午後は実践としてロープレでアウトプットします。 見立てと目標設定を学び、さらに具体的展開力を強化するために、自分が扱いやすい方策（傾聴不足・CC視点不足の事例相談者）の2つを考えます。					

受講することで、理解し身につく内容	
傾聴のレッスンにもさまざまな方法があることを学びます	代表的なキャリアコンサルタント視点の問題には何があるかを理解し、それに気づきを促がす、自分らしいいくつかの質問や手立てをもつことが出来ます。
方策の準備ができていれば、目標設定で悩むことはありません	傾聴不足やCC視点の対応不足がある場合の方策をいくつか考えることができます。